

10月 園だより

- <教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

2019. 9. 27 文京区立本駒込幼稚園



体を動かす楽しさと表現する楽しさ ～ダンスワークショップから～



園長 原田幸子



厳しい暑さも一段落し、秋風の心地よさが感じられる季節となりました。子どもたちは進んで園庭に出て、友達や先生と一緒に鬼ごっこやボール遊び、固定遊具、リレー、かけっこなど様々な運動遊びを楽しんでいます。汗をかきながらも、夢中になって動く姿にたくましさを感じられます。また、紙やテープで作った羽やお面などを身に付けて、動物や虫になりきって動いたり、カセットデッキでお気に入りの曲を聞きながら、踊ったり体操したりすることも楽しんでいます。

先日、オリンピック・パラリンピック教育推進事業の一環として、コンテンポラリーダンスカンパニー「んまつー波斯」さんをお招きして、ダンスワークショップを行いました。まず、講師の先生の自己紹介から始まりました。「んまつー波斯」と黒板に大きな字を書き、「これを反対から読むと…」とお話されると、子どもたちから「あ、スポーつまん」「じゃあ、私の名前は〇〇だわ」という声が上がりました。アツという間に、「んまつー波斯」さんの話に引き込まれました。「次は、素早く立てる、この座り方をよく見てね。」との片膝立ちのポーズをお手本に、「合図で素早く立つ」ことを数回繰り返すと、音をよく聞いて機敏に動こうとする子どもたち。リズムが徐々に早くなるウォーミングアップの体操(?)も楽しみ、「だじゃれ DE 1 週間」の曲に合わせて先生の動きをまねて踊る頃には、みんなの笑顔が輝いていました。最後に、曜日ごとの振り付けをグループで考えました。「水曜日は水だから、釣りの動きはどうか」「木曜日(Tuesday)はサがつくもの。サーカス」など、子どもたちのつぶやきを、先生は丁寧に聞き取り、動きを引き出していました。本駒込幼稚園オリジナルの踊りも完成し、あつという間の40分間でした。

「んまつー波斯」の3人のダンサーは、大学で幼稚園から高等教育までの教職課程を学び、各地で幼児や児童にダンスの楽しさを伝えていらっしゃる、今年「第13回キッズデザイン賞」(子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた活動・サービスなどを顕彰する賞)の優秀賞を受賞されました。私たちも、子どもたちが自ら動きたくなるような教材や指導の工夫に努めていきたいと思えます。

今回のワークショップで子どもたちが体験した、音楽を感じ取って体を動かす楽しさ、友達と一緒に踊る楽しさは、これからの遊びや運動会につながることでしょう。運動会では、これまでに子どもたちが遊びや活動の中で経験した様々なことに思いを馳せながら、温かく応援していただき、次への意欲につながるように声をかけてくださるようお願いいたします。本駒込幼稚園の皆が一体となって、45周年の思い出に残る運動会にしましょう。

